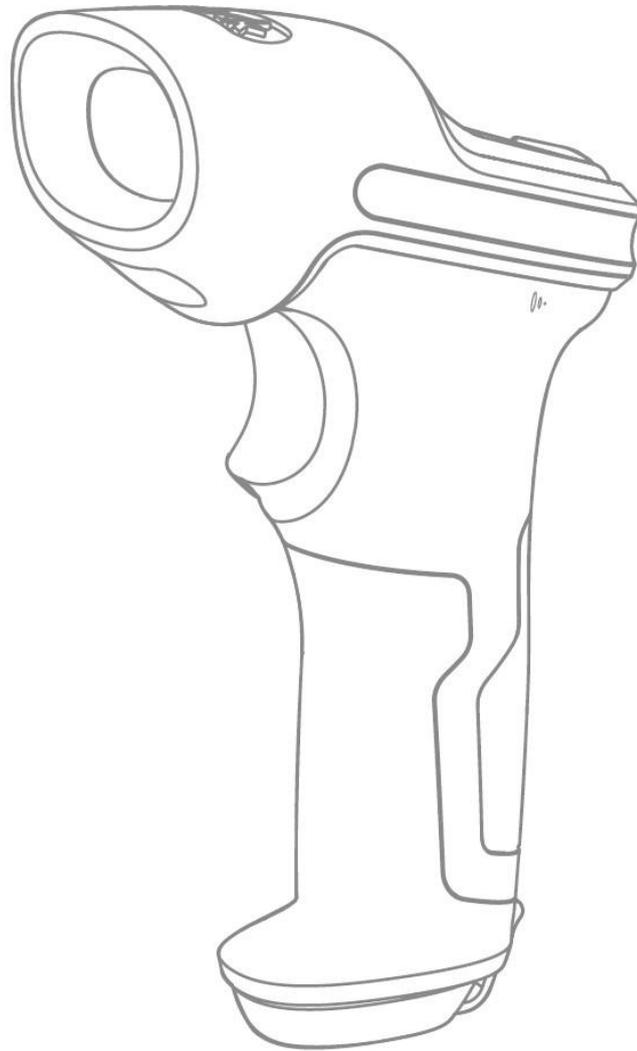


P7

433MHz+Bluetooth 1D CCD バーコードスキャナー

# 取扱説明書



# ディレクトリ

重要なお知らせ	5
安全上のご注意	5
日常のお手入れ	5
Inateck P7 バーコードスキャナーの概要	6
スキャナーの特長	6
重要な機能のご紹介	7
製品仕様	8
正しいスキャン方法	9
間違ったスキャン方法	9
クイックスタート	10
セットアップのフローチャート	10
設定モードに入る	11
保存して終了	11
保存せずに終了	11
カスタム設定を保存する	12
工場出荷時の設定に戻す	12
ソフトウェアのバージョンを確認する	13
第1章 機能と基本設定	15
1.1 バッテリー	14
1.1.1 充電	14
1.1.2 自動スリープモード	14
1.1.3 バッテリー残量表示	15
1.2 データバッファ	16
1.2.1 在庫モード	17
1.3 LED インジケータ	18
1.4 ビープ音	19
1.4.1 ビープ音の音量	19
1.5 振動通知	20
1.6 スキャニングモード	21
1.6.1 自動消光モード	21
1.6.2 連続読み取りモード	22
1.6.3 手動モード	24
1.6.4 ハンズフリーモード	25
1.7 対応キーボード	25
1.8 サポートされているバーコード	27
第2章 接続方法	29
2.1 433MHz ワイヤレスモード	29
2.1.1 433MHz ワイヤレス接続	29
2.1.1 433MHz ワイヤレスチャンネル変更	31
2.2 Bluetooth HID モード	32
2.3 Bluetooth SPP Mode	34
2.4 USB モード	35
2.5 データ伝送スピード	35

2.6 Bluetooth 名前の設定	37
第3章 バーコード設定	37
3.1 Codabar	37
3.1.2. スタート・ストップキャラクタを伝送する	39
3.2 Code 11	40
3.2.1. Code 11 を有効/無効にする	40
3.2.2 チェックサム検証	41
3.3 Code 128	42
3.3.1 Code128 を有効/無効にする	42
3.3.2 GS1-128 (UCC/EAN-128)を有効/無効にする	43
3.3.3 USPS と FedEx を有効/無効にする	44
3.4 Code 39	44
3.4.1 Code 39 を有効/無効にする	44
3.4.2 スタート・ストップキャラクタを伝送する	44
3.4.3 チェックサム検証	45
3.4.4 ASCII コード認識範囲の設定	46
3.4.5 VIN	47
3.4.6 Code 32	48
3.5 Code 93	49
3.5.1 Code 93 を有効/無効にする	49
3.6 EAN-8	50
3.6.1 EAN-8 を有効/無効にする	50
3.6.2 チェックサム検証	50
3.7 EAN-13	51
3.7.1 EAN-13 を有効/無効にする	51
3.7.2 チェックサム検証	51
3.7.3 ISBN	52
3.7.4 ISSN	52
3.8 MSI	53
3.8.1 .MSI を有効/無効にする	53
3.8.2 チェックサム検証	54
3.9 UPC-A	56
3.9.1 UPC-A を有効/無効にする	56
3.9.2 UPC-A に 0 を付加する	56
3.9.3 チェックサム検証	56
3.9.4 UPC-A ナンバーシステムキャラクタ	57
3.10 UPC-E	57
3.10.1 UPC-E を有効/無効にする	57
3.10.2 UPC-E1 を有効/無効にする	58
3.10.3 先頭文字送信	58
3.10.4 UPC-E を UPC-A に変換する	58
3.10.5 チェックサム検証	59
3.11 IATA 2 of 5	59
3.11.1 IATA 25 を有効/無効にする	59
3.11.2 チェックサム検証	59

3.12 インターリーブド (Interleaved) 2 of 5 (以下インターリーブド 25 と省略) ……	61
3.12.1 インタリーブド 25 を有効/無効にする ……	61
3.13 マトリックス(Matrix) 2 of 5 (以下マトリックス 25 と省略) ……	62
3.13.1 マトリックス 25 を有効/無効にする ……	62
3.13.2 チェックサム検証 ……	62
3.14 スタンダード (Standard) 2 of 5 / インダストリアル (Industrial) 2 of 5 ……	63
3.14.1 スタンダード 25 を有効/無効にする ……	63
3.14.2 チェックサム検証 ……	63
3.15 中国郵便番号 (China Postal Code) ……	64
3.15.1 中国郵便番号を有効/無効にする ……	64
3.15.2 チェックサム検証 ……	64
3.16 Plessey ……	65
3.16.1 Plessey を有効/無効にする ……	65
3.16.2 チェックサム検証 ……	66
3.17 Telepen ……	66
3.17.1 Telepen を有効/無効にする ……	66
3.17.2 チェックサム検証 ……	67
3.17.3 Telepen Alpha ……	67
3.18 GS1 DataBar ……	68
3.18.1 GS1 DataBar を有効/無効にする ……	68
3.19 GS1 DataBar Expanded ……	68
3.19.1 GS1 DataBar Expanded を有効/無効にする ……	68
3.20 GS1 DataBar Limited ……	69
3.20.1 GS1 DataBar Limited を有効/無効にする ……	69
第 4 章 出力フォーマットの設定 ……	70
4.1 Code ID ……	70
4.2 バーコードの停止コードに関する設定 ……	71
4.3 プレフィックス/サフィックス設定 ……	72
4.4 バーコードデータの文字 (複数可) を削除する ……	73
4.5 大文字/小文字の設定 ……	74
4.6 追加コード ……	76
4.6.1 2桁の追加コード ……	76
4.6.2 5桁の追加コード ……	76
4.7 バーコードセパレーター ……	77
4.8 Short Barcode ショートバーコード ……	77
4.9 Caps Lock 制御 ……	78
4.10 特定の文字で始まるバーコードを出力する ……	79
4.11 白黒反転したバーコードを出力する ……	80
4.12 特定の開始文字を非表示する ……	81
4.13 タイムスタンプ ……	81
4.14 ショートカットキー ……	84
付録 1 プレフィックス/サフィックスの番号とシンボルリスト ……	85

## 重要なお知らせ

### 安全上のご注意

\*短絡したり、回路が損傷したりする可能性があるので、スキャナーを分解したり、異物をスキャナーに入れたりしないでください。

\*スキャナまたはバッテリーを引火の恐れがある場所に放置しないでください。

### 日常のお手入れ

\*きれいな濡れた布でスキャナーの本体からほこりを拭き取ってください。

\*長期間使用しない場合は、スキャナーの電源スイッチをオフモードに切り替える必要があります。

\*スキャナーは異常がでる場合は、弊社のカスタマーサポートに相談することをお勧めします。

# Inateck P7 バーコードスキャナーの概要

## スキャナーの特長

\*赤い光オフモード、連続スキャンモード、マニュアルモード、ハンズフリーモードの4種類のスキャンモードが搭載されています。

\*433MHz ワイヤレスモード、Bluetooth HID モード、Bluetooth SPP モード、USB モードなど、4つのデータ送信モードがあります。

\*8種類のキーボードがサポートされています：US キーボード、UK キーボード、カナダキーボード、ドイツ語キーボード、フランス語キーボード、スペイン語キーボード、イタリア語キーボード、および日本語キーボード。

\*Windows、Mac OS、Linux、Android 及び iOS に対応します。

\*LED インジケータ、ビープ音と振動モーターによるスキャナーの状態を示します。バーコード設定で音量を調整することができます。

\*最大 32 文字のプレフィックス/サフィックスを自由にカスタマイズできます。最大 99 文字の接頭文字または接尾文字を削除できます。

\*内蔵の 32 Mb メモリにより、バーコードスキャナーはオフラインまたはインベントリモードの際に最大 270,000 個の 13 桁のバーコードを保存できます。

\*スキャンモード、バーコードタイプ、およびデータ送信フォーマットの設定は、設定用バーコードをスキャンすることにより行われます。

★液晶画面上のバーコードも読み取り可能

★多数のデコードタイプがサポートされています。

★超高速デコードスピードも誇ります。

★アンチクラッシュと耐衝撃設計。

★完全に自己所有の知的財産を持っています。

★快適な操作性を実現できます。

★最大 100 万回のクリックできます。

★433MHz ワイヤレス伝送距離は最大 400 メートルに達します。

★Bluetooth 伝送距離は最大 40 メートルに達します。

★2600mAh の大容量リチウムイオン電池が内蔵されています。

★省エネルギー技術により長いバッテリー寿命が保証されます。

## 重要な機能のご紹介

電源スイッチ：電源スイッチを「オン」に切り替えると、スキャナが起動します。電源スイッチを「オフ」に切り替えると、スキャナがシャットダウンします。

スキャントリガー：

- 1.トリガーを短く押すと、赤い光が発光し、バーコードスキャナーはバーコードをスキャンする準備が整います。
- 2.トリガーを2回押して、バッファに保存されたデータをアップロードします。
- 3.トリガーを1秒間押し続けると、仮想キーボードがポップアップ/非表示になります（この機能は、Bluetooth HID モードで iOS デバイスに接続されている場合にのみ使用できます。2.2 章を確認してください）。トリガーを5秒間押し続けて、Bluetooth ペアリング状態に移行します（この機能は、Bluetooth HID モードで Bluetooth 接続が切断されている場合にのみ使用可能です）。

## 製品仕様

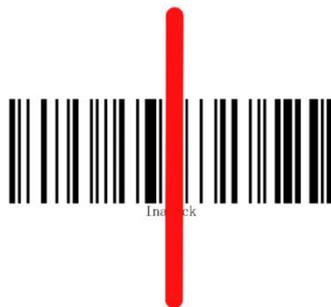
物理的特性	
材料	PC+TPU
外見寸法	長さ 92mm*幅さ 69mm* 高さ 162mm
重量	197g
外観色	ダークグレー+ブラック+黄色
インジケーター	ブザー、LED
インタフェース	USB
電圧	DC 5V
バッテリー容量	2600mAh
性能特性	
光源	赤い LED ライト
センサー	2500 pixel CCD
適用可能なバーコード s	Codabar, Code 11, Code 128, GS1-128, USPS, FedEx, Code 39, Code 32, Code 93, EAN-8, EAN-13, ISBN, ISSN, MSI, UPC-A, UPC-E, IATA 25, Industrial 25 / Standard 25, Interleaved 25, Matrix 25, China Postal Code, Plessey, Telepen
解像度	3mil
デコードレート	220 回/s
デコードモード	シングルレーザー
スキャンモード	自動モード /手動モード
標準作業距離	4~50cm
スキャン幅	300mm @ 400mm
印刷コントラスト	20%
デコードアングル	ロール 30°、ピッチ 75°、ヨー 80°
水平シリンダースキャン	直径 20mm
433MHz 特性	
無線周波数	433.05-434.79MHz
ワイヤレスパワー	<7dBm
伝送距離	≥400m
BLUETOOTH 特性	

Bluetooth Version	Bluetooth 3.0
無線周波数	2.402GHz~2.480GHz
ワイヤレスパワー	<4dBm
伝送速度	1Mbps
伝送距離	≥40m
承認	CE & FCC & RoHS
<b>使用環境</b>	
動作温度。	0 ~ 50°C / 32 ~ 122°F
保管温度。	0 ~ 50°C / 32 ~ 122°F
動作湿度	20-85% (結露しない)
保管湿度	20-85% (結露しない)
<b>アクセサリ</b>	
USB ケーブル、レシーバー	

### 正しいスキャン方法



### 間違ったスキャン方法



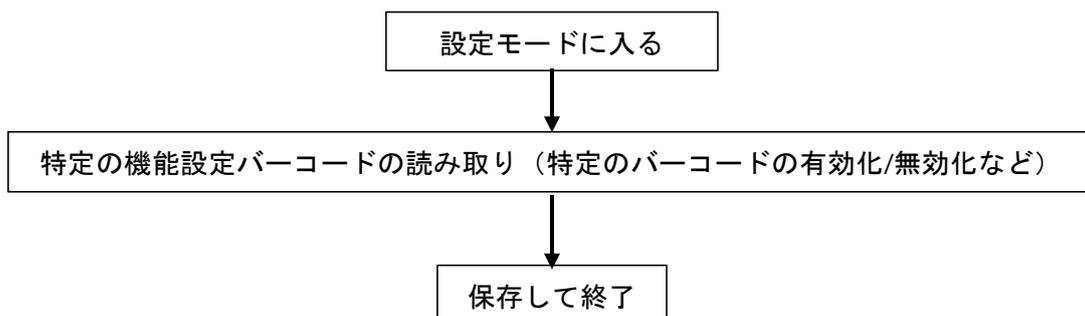
## クイックスタート

Inateck P7 バーコードスキャナーは、設定バーコードをスキャンすることで設定を変更できます。本章では、設定バーコードをスキャンして Inateck P7 バーコードスキャナーを設定する手順について説明します。下記をご参考ください。

ステップ	操作	表示
1	電源スイッチを OFF から ON に切り替え、電源をオンにします。トリガーを短く押します。	Inateck P7 の読み取り窓から赤色光が投光された。
2	「セットアップ」バーコードをスキャンして、設定モードに入ります。  セットアップ	三和音が鳴って、LEDインジケータが青点灯になります。
3	特定の機能設定バーコードをスキャンします。例えば：  Codebar を有効にする	2 回のビーブ音（低い音から高い音まで）が鳴ります。
4	「保存して終了」バーコードをスキャンして設定を完了します。  保存して終了	三和音が鳴って、青色の LED インジケータが消灯になります。

ご注意：セットアップエラーが発生した場合、長いビーブ音が鳴ります。

### セットアップのフローチャート



## 設定モードに入る

Inateck P7 スキャナーは下記の「セットアップ」バーコードをスキャンすると設定モードに入ります。

設定モードに入ると、Inateck P7 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED インジケータが青点灯になります。



セットアップ

以下の手順では、その他の機能設定について説明します。

## 保存して終了

Inateck P7 スキャナーは下記の「保存して終了」バーコードをスキャンすると設定モードを終了します。

設定モードを終了すると、Inateck P7 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、LED インジケータが青点灯になります。



保存して終了

## 保存せずに終了

エラーが発生したときに「保存せずに終了」バーコードをスキャンすることをお勧めします。「保存せずに閉じる」バーコードがスキャンされると Inateck P7 バーコードスキャナーは三和音が鳴って、青点灯の LED インジケータが消灯になります。



保存せずに終了

## カスタム設定を保存する

Inateck P7 バーコードスキャナーを使用する場合、一部の機能をカスタマイズし、必要に応じて復元できます。カスタム設定を保存するには、「セットアップ」をスキャンし、「コード ID を有効にする」など機能バーコードをスキャンし、「カスタム設定を保存する」をスキャンします。それで、Inateck P7 はカスタム設定を保存します。



セットアップ



カスタム設定を保存する



カスタム設定を復元する

バーコードスキャナーをリセットする時に、カスタム設定に復元したい場合は、「セットアップ」-「カスタム設定を復元する」の順でバーコードをスキャンしてください。正常に設定した場合は、設定モードが自動で終了します

## 工場出荷時の設定に戻す

Inateck P7 バーコードスキャナは「セットアップ」-「工場出荷時の設定に戻す」の順でバーコードをスキャンすると、2 回のビープ音（低い音から高い音まで）と三和音が鳴ります。すべての設定が工場出荷時のデフォルト値に戻します。「保存して終了」バーコードをスキャンする必要はありません。



工場出荷時の設定に戻す

ご注意：ほとんどの設定で工場出荷時の設定が選択されています。アスタリスク "\*"は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています。工場出荷時の設定に復元すると、Inateck P7 は 433MHz ワイヤレスモードに切り替わります。

「工場出荷時の設定に戻す」バーコードは、以下の状況で使用できます。

1. スキャナーが動作しません。例えば、バーコードを読み取ったりスキャンしたりすることはできません。
2. 以前行った設定を忘れてしまいました。スキャナーを使用するときに忘れた設定の影響を受けたくない場合。
3. 通常は使用されていない、またはスキャナのデフォルト設定ではない機能を使用する必要があります。

### ソフトウェアのバージョンを確認する

Inateck P7 のソフトウェアバージョンを確認したい場合は、下記の「セットアップ」と「ソフトウェアのバージョンを表示する」バーコードをスキャンしてください。:



セットアップ



ソフトウェアのバージョンを表示する

ソフトウェアのバージョンを確認するには、通常、設定モードで実行されるため、ソフトウェアバージョンの表示後に「保存せずに終了」バーコードをスキャンする必要があります。



保存せずに終了

# 第 1 章 機能と基本設定

この章では、バーコードスキャナーの機能と使い方を紹介します。

## 1.1 バッテリー

本製品には 2600mAh の充電可能なリチウム電池が内蔵されます。赤色光自動オフモードを使用すると、バーコードスキャナーは 433MHz ワイヤレスモードで 107 時間連続して動作でき、192600 個のバーコード（2 秒ごとにバーコード Code 128 を読み取り）を読み取ることができます。

### 1.1.1 充電

バーコードスキャナーを充電するには、付属の USB ケーブルを使用し、バーコードスキャナーをコンピューターまたは 5V 充電器の USB ポートに接続してください。充電中に赤い LED インジケータが点灯し、スキャナが完全に充電されると消灯します。

### 1.1.2 自動スリープモード

バッテリーの電力を節約するために、スキャナが設定した時間間隔で、自動的にスリープモードに移行することが実現できます。デフォルトの時間間隔では、3 分に設定されています。



(\*) 自動スリープモードを有効する



自動スリープモードを無効する



1 分間



(\*) 3 分間



5 分間



10 分間

例：自動スリープ時間が 5 分に設定する操作手順は次のとおりです。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「5 分間」を読み取ります。
3. 保存して終了

Tips: スキャナーの電源を常にオンにしたい場合は、手順 2 で「自動スリープモードを無効する」のバーコードをスキャンします。



セットアップ



保存して終了

### 1.1.3 バッテリー残量表示

「バッテリー残量表示」のバーコードをスキャナーして、バッテリー残量が表示されます。  
(「セットアップ」のバーコードをスキャンする必要がありません)



バッテリー残量表示

## 1.2 データバッファ

Inateck P7 は、データバッファとして 32Mb メモリを採用しています。レシーバーが送信範囲内にある場合、バーコードを正常に読み取ると、Inateck P7 スキャナーはコンピューター、スマートフォンなどデバイスにデータをアップロードし、短いビープ音（高音）が鳴り、緑色の LED インジケーターが 1 回点滅します。レシーバーが送信範囲外にある場合、読み取られたすべてのデータはバッファに保存され、Inateck P7 は 2 回の短いビープ音（高音から低音へ）が鳴り、青色の LED インジケータが 1 回点滅します。バッファは容量がなくなると、Inateck P7 は長いビープ音（高音）が鳴ります。これは、バッファの容量が足りず、これ以上バーコードを保存できないという状況を意味します。この場合は、読み取られたデータをデバイスにアップロードし、バッファのスペースを解放するには、すぐに送信範囲に戻ってください。

ご注意：32 Mb メモリーには、最大 270,000 個の 13 桁バーコードを保存できます。

バーコードスキャナーをオンにしてから、バッファ内のデータのクリアを有効/無効にするという機能を設定することができます。



起動後、バッファ内のデータのクリアを有効にする



(\*) 起動後、バッファ内のデータのクリアを無効にする

接続が完了すると、バッファ内のデータは自動的にアップロードされないため、デバイスにデータをアップロードするには、トリガーをダブルクリックします。下記のバーコードをスキャンして、データを自動的にアップロードする/しないと設定することができます。デフォルトで「バッファデータの自動アップロードを無効にする」に設定していました。

接続が成功した後にバッファ内のデータを自動的にアップロードするには、「バッファデータの自動アップロードを有効にする」を設定してください。



バッファデータの自動アップロードを有効にする



(\*) バッファデータの自動アップロードを無効にする



セットアップ



保存して終了

## 1.2.1 在庫モード

Inateck P7 のバッファにバーコードを保存して一括アップロードするには、在庫モードを選択してください。在庫モードでは、Inateck P7 は自動的にバーコードの数量を計数でき、読み取ったバーコードを Inateck P7 のバッファに保存し、コンピュータに一括アップロードすることができます。在庫モードでは、データをアップロードする時間と場所に制限されません。アップロード後に履歴データをバッファでクリアすることができます。在庫モードの詳細は次のとおりです。

- 1) バーコードをスキャンして在庫モードに入ります。



在庫モード

- 2) バーコードをスキャンして通常モードに戻ります。



(\*) 通常モード

- 3) バーコードをスキャンしてバッファ内のデータをクリアします（インベントリモードのみ）。



バッファ内のデータをクリアする（インベントリモードのみ）

- 4) バーコードをスキャンしてバッファからデータをアップロードします。(在庫モードのみ)



データアップロード (在庫モードのみ)

- 5) バーコードをスキャンしてバッファからバーコードの数をアップロードします。(在庫モードのみ)



バーコードの数をアップロードする。(在庫モードのみ)

ご注意：以上の5つの機能は、「セットアップ」と「保存して終了」バーコードをスキャンしなくても実現できます。

### 1.3 LED インジケータ

LED インジケータは Inateck P7 の動作を表示できます。

LED インジケータ	動作
緑色の LED が点滅している	ペアリングされていますが、今回は正常に接続されていません。
緑色の LED が一回点滅した	バーコードが正常に読み取られ、コンピュータにアップロードされました。
青色の LED が点滅している	Bluetooth 接続待ちの状態、他のデバイスで検出可能となります。
青色の LED が一回点滅した	バーコードは正常に読み取られ、バッファに保存されました。
青色の LED が常時点灯している	セットアップモード
黄色の LED が点滅	ローバッテリー
赤色の LED が常時点灯している	充電中 (満充電になると赤色の LED が消灯します。)

## 1.4 ビープ音

Inateck P6 に内蔵されているブザーは、当前の操作状況を知らせます。

ビープ音	動作
短い高音 (100ms) が 1 回鳴った。	バーコードを正常に取りました。
短い高音 (20ms) が 1 回鳴った。	データはスキャナーからホストへアップロードされました。
長い高音 (400ms) が 1 回鳴った。	設定エラー (セットアップ状態では、青色の LED は点灯したままです) 433MHz ペアリング失敗 (ペアリング中にのみ発生します) バッファ容量がなくなったため、スキャンされたバーコードは保存されません。
長い高音 (800ms) は 1 回または数回を鳴った。	USB が認識されています。
三和音	セットアップモードに入りました。(青色 LED が点灯) 設定モードを終了しました。(青色 LED 消灯)
和音 (高音から低音)	Bluetooth 接続が成功しました。
短い音が 2 回鳴った	Bluetooth 接続が中断しました。
短い音 (低音から高音まで) が 2 回鳴った。	設定に成功しました。
短いビープ音 (高音から低音) が 2 回鳴った。	Inateck P6 とコンピュータの接続が中断されました。

### 1.4.1 ビープ音の音量



ミュート



最小音量



(\*) 中間音量



最大音量

For example: Steps to set Minimum Volume for beeper are as below:

1. Read the "Enter Setup" barcode;
2. Read the "Minimum Volume" barcode;
3. Read the "Exit with Save" barcode.

Note: The factory default value for each setting is marked by an asterisk "\*".

例：下記の手順に従って、ビープ音の音量を最小音量に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンします。
2. 「最小音量」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：アスタリスク "\*"は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています。



セットアップ



保存して終了



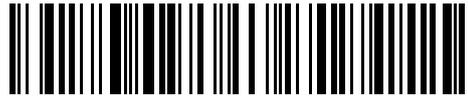
保存せずに終了

## 1.5 振動通知

Inateck P7 バーコードスキャナーのデフォルト設定として、バーコードを正常に読み取ると、振動で知らせます。この機能を有効/無効にし、振動強度を調整できます。



震度通知を無効する



(\*) 震度通知を有効する (弱)



震度通知を有効する (強)

例：下記の手順に従って、「震度通知を無効する」に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンします。
2. 「震度通知を無効する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了

## 1.6 スキャニングモード

Inateck P6 は自動消光モード、連続読み取りモード、手動モード及びハンズフリーモードなど4つのスキャニングモードをサポートします。

### 1.6.1 自動消光モード

デフォルトでは、スキャニングモードは自動消光モードに設定されています。トリガーをクリックすると、読み取り窓から赤い光が投光され、バーコードをスキャンできます。バーコードが正常にスキャンされない場合、設定した待機時間後にレーザーは自動的に消光します。通常、デフォルトは2秒で、1秒、2秒、3秒、5秒に設定できます。バーコードを正常にスキャンした場合はレーザーがすぐに消えます。



(\*) 自動消光モード



1 秒



3 秒



50 秒



自動消光モードの待機時間を設定



(\*) 2 秒



5 秒

例：下記の手順に従って自動消光モードを有効にして、待機時間を 1 秒に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする
2. 「自動消光モード」のバーコードを読み取ります。
3. 「自動消光オフモードの待機時間を設定」のバーコードを読み取ります。
4. 「1 秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります

## 1.6.2 連続読み取りモード

このモードでは、トリガーをクリックする必要なくて、赤い光が常時投光され、スキャナが自動的にスキャン状態に入ります。

Inateck P7 がバーコードを正常に読み取ったまで、赤いレーザーは消光されません。バーコードを正常に読み取った場合、レーザーが消えて、スキャナーは待機モードに入ります。デフォルトの待機時間が通常に 2 秒で設定され、ご利用環境により、400ms、800ms、

1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、10 秒、15 秒に設定されることができます。

また、待機時間が経過するとスキャナのレーザーが再び投光されます。スキャナがバーコードを正常に取り取ると消えます。この動作を繰り返し行います。



連続読み取りモード



連続読み取りモードの待機時間



400ms



800ms



1 秒



(\*) 2 秒



3 秒



5 秒



10 秒



15 秒

例：下記の手順に従って連続読み取りモードを有効にして、待機時間を 1 秒に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。

2. 「連続読み取りモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「連続読み取りモードの待機時間」のバーコードを読み取ります。
4. 「1秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：アスタリスク "\*"は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています。



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

### 1.6.3 手動モード

手動モードでは、トリガーを押し続けていると、Inateck P7 は赤色の光を投光し、バーコードを読み取ることができます。次のような状況になると、赤色のレーザーが消光します。

\*バーコードを正常に読み取りました。

\*トリガーを放しました。



手動モード



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従って、手動モードに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「手動モード」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 1.6.4 ハンズフリーモード

ハンズフリーモードでは、Inateck P7 がバーコードを正常に読み取った後も赤い光は点灯したままですが、繰り返し読み取ることはありません。以下のバーコードをスキャンして、スキャナーをハンズフリーモードに設定できます。



ハンズフリーモード



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

例：下記の手順に従ってハンズフリーモードに設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする
2. 「ハンズフリーモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります

## 1.7 対応キーボード

Inateck P7 は Windows、Android、MacOS と互換性があります。デフォルトでは Windows/Android 用キーボードと設定しています。

下記の関連バーコードをスキャンして変更することができます



(\*) Windows/Android モード



MacOS / iOS モード

MacOS/iOS デバイスで Inateck P7 を使用するには、以下の手順に従って操作してください：

- 1) 「セットアップを入力」を読み取ります。
- 2) 「MacOS デバイスモード」を読み取ります。
- 3) 「保存して終了」を読み取ります。

ご注意：Android デバイスで Inateck P7 を使用する場合は、Gboard を入力として適用してください。スキャナを「Windows / Android」モードに設定するほかに、スキャナキーボードの言語を Gboard 対応可能な US キーボードに設定する必要があります。Gboard の言語設定は出力に影響しません。

Inateck P7 は、US キーボード、ドイツ語キーボード、フランス語キーボード、スペイン語キーボード、イタリア語キーボード、UK キーボード、日本語キーボード、カナダ語キーボードの 8 つの国際キーボードをサポートしています。US キーボードをデフォルトとして設定されます。下記のバーコードをスキャンして、スキャナのキーボードを、ホストコンピュータのキーボードと一致するように設定することをお勧めします。



(\*) US キーボード



ドイツ語キーボード



フランス語キーボード



スペイン語キーボード



イタリア語キーボード



UK キーボード



日本語キーボード（ローマ字）



カナダ語キーボード

例：下記の手順に従ってキーボードをドイツ語キーボードに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「ドイツ語キーボード」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 1.8 サポートされているバーコード

Inateck P7 スキャナは一般的なバーコードのほとんどがサポートされています。下記のリスト、或いは第3章で確認してください。

サポートされているバーコード： 有効/無効	デフォルト
Codabar	有効
Code 11	無効
Code 128	有効
GS1-128 (UCC/EAN-128)	無効
USPS	有効
FedEx	有効
Code 39	有効
Code 32	無効

Code 93		有効
EAN-8		有効
EAN-13		有効
ISBN		無効
ISSN		無効
MSI		無効
UPC-A		有効
UPC-E		有効
2 of 5 バーコード	IATA 2 of 5	無効
	インタリーブド 25	有効
	マトリックス 25	無効
	スタンダード 25 またはインダストリアル 25	無効
中国郵便番号		無効
プレッシー		無効
テレペン		無効
テレペンアルファ		無効
GS1 DataBar		有効
GS1 DataBar Expanded		有効
GS1 DataBar Limited		有効

## 第2章 接続方法

### 2.1 433MHz ワイヤレスモード

433MHz ワイヤレスモードは、デフォルトの接続モードです。他の接続モードを使用してから、433MHz ワイヤレスモードに戻す場合は、「セットアップ」-「433MHz ワイヤレスモード」-「保存して終了」の順にバーコードをスキャンしてください。



(\*) 433MHz ワイヤレスモード



セットアップ



保存して終了

このモードでは、レシーバーをコンピューターに接続する必要があります。USB が正常に設定されると、レシーバーのインジケータライトが1回点滅してから消えます。コンピューターで新しいテキストファイルを開き、カーソルをテキストの空白領域に移動すると、スキャンしたデータがテキストファイルに送信されます。

#### 2.1.1 433MHz ワイヤレス接続

Inateck P7 は、工場を出る前にレシーバーとペアリングされています。レシーバーを交換する場合は、再度ペアリングする必要があります。数台の P7 スキャナーを1つのレシーバーとペアリングできます。また、1つのスキャナーを数台のレシーバーとペアリングできます（最大8つのレシーバーをペアリングできます）。

1台のスキャナーを1台の USB レシーバーとペアリングする手順：

- A. アダプタをコンピューターに差し込みます。
- B. 「セットアップ」バーコードをスキャンします。
- C. 「1台または、複数台のスキャナーを1台の USB レシーバーとペアリング」バーコードをスキャンし、Inateck P7 を USB アダプターにできるだけ近づけます（2メートル以内）。

D. ペアリングが成功してから、三和音（低音から高音）がなります。ペアリングが失敗すると、長い高音が鳴ります。この場合は、もう一度操作する必要があります。



1台または、複数台のスクャナーを1台のUSBレシーバーとペアリング

上記の手順に従って繰り返し操作して、1台のレシーバーを複数台のスクャナーとペアリングすることができます。

複数台のUSBレシーバーと1つのスクャナーをペアリングする手順

- a. USBアダプターをコンピュータから取り外します。
- b. 「セットアップ」バーコードをスキャンします。
- c. 「複数台のUSBレシーバーと1つのスクャナーをペアリング」のバーコードをスキャンし、Inateck P7をUSBレシーバーにできるだけ近づけます（2メートル以内）。
- d. USBレシーバーをコンピュータに挿入します。レシーバーはインジケータが点滅し、短い高音が鳴り、ペアリングが成功したことを示します。
- e. レシーバーを取り外し（バーコードスキャナーでの操作は不要です）、2番目のレシーバーをコンピュータに接続します。レシーバーはインジケータが点滅し、短い高音が鳴り、ペアリングが成功したことを示します。この手順を繰り返して、次のレシーバーをペアリングします。
- f. すべてのレシーバーがInateck P7バーコードスキャナーとペアリングされている場合、バーコードスキャナーのトリガーを短く押すと、ペアリングが停止します。

ご注意：接続されているUSBアダプターが多いほど、送信時間が長くなり、スキャン後の待ち時間が長くなります。



複数台のUSBレシーバーと1つのスクャナーをペアリング



セットアップ



保存して終了

## 2.1.1 433MHz ワイヤレスチャンネル変更

433MHz ワイヤレスモードで6つのチャンネルが使用可能であり、デフォルトでチャンネル0に設定しています。同じ場所で複数台の Inateck P7 を利用する場合は、無線信号の干渉を避けるために、1台毎にチャンネルを設定することをおすすめします。

作業チャンネルをチャンネル1に設定するには、まず USB レシーバーが有効通信範囲内にあることを確認してください。そして、「セットアップ」-「433MHz チャンネルの設定」-「チャンネル1」の順でバーコードをスキャンしてください。設定が完了してから、Inateck P7 が自動でセットアップモードから戻ります。

ご注意：チャンネル変更が接続された USB レシーバーのみ機能します。Inateck P7 が複数の USB レシーバーと接続されている場合、すべてのレシーバーをコンピューターに接続して一度設定するだけで、すべての dongle でチャンネルを切り替えることができます。



Set 433MHz チャンネル設定



(\*) チャンネル 0



チャンネル 1



チャンネル 2



チャンネル 3



チャンネル 4



チャンネル 5



セットアップ

## 2.2 Bluetooth HID モード

Bluetooth HID モードが、デフォルト設定ではありません。Bluetooth HID モードに設定するには、「セットアップ」 - 「Bluetooth HID モード」 - 「保存して終了」の順でバーコードを読み取ります。



Bluetooth HID Mode

Inateck P7がBluetooth経由でデバイスと接続したことがない場合は、Bluetooth HID モードに切り替えた後、Inateck P7は自動で接続待ちの状態に入り、インジケータが青点滅になって、他のデバイス（スマホ/コンピューター）で検出可能となります。接続が完了してから、三和音（高音から低音まで）が鳴ります。コンピューターまたは、スマホで新しいテキストファイルを開き、カーソルをテキストの空白領域に移動すると、スキャンしたデータがテキストファイルに送信されます。

ご注意：ペアリングは、最初に一度行なえば、次回から自動的にペアリングして接続を行います。

ほかのデバイスと接続する場合は、「セットアップ」 - 「1台または、複数台のスクャナーと1つのレシーバーをペアリング」を読み取ってください。Inateck P7が接続待ちの状態に入り、スマホやコンピューターと接続できるようになります。

接続が切れた場合は、上記の手順を繰り返すする必要がありません。トリガーを5秒間に長押しして、Inateck P7が接続待ちの状態に入り、スマホやコンピューターともう一度接続できるようになります。

ご注意：Inateck P7と接続したことがある場合は、接続先のデバイス（コンピューターやスマホ）での接続履歴を削除しておいてください。



1台または、複数台のスクャナーと1つのレシーバーをペアリング

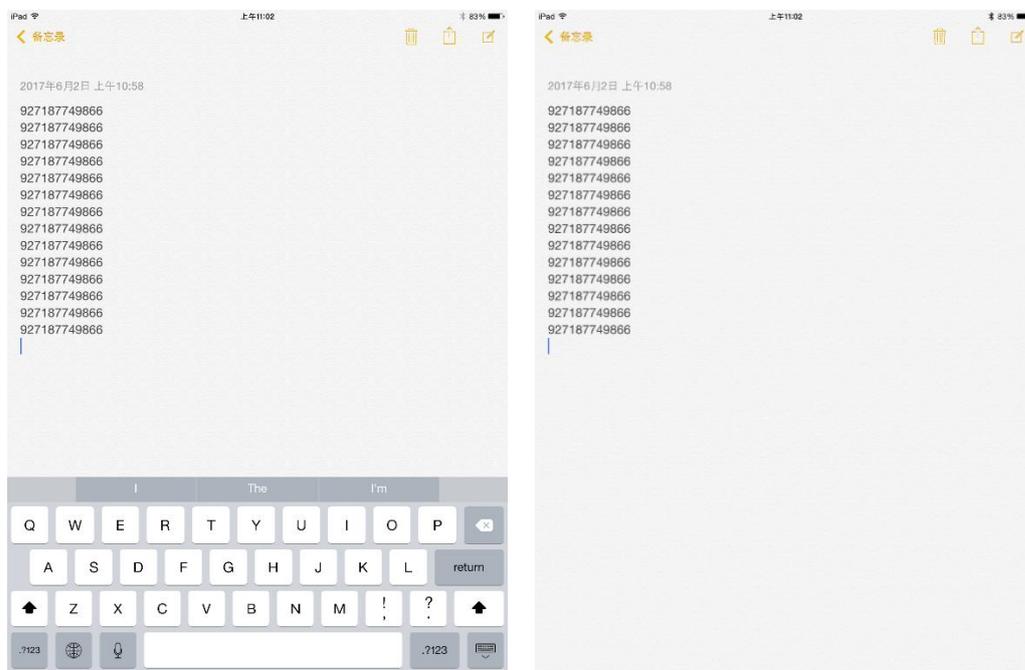


セットアップ



保存して終了

HID モードでは、Inateck P7 と接続してから、お使いのスマートフォンは仮想キーボードが非表示されます。iOS ユーザーの場合、ポップアウトするには、トリガーを長押しします。もう一度長押しすれば、仮想キーボードが非表示されます。下記通りでご参考ください。



ご利用のデバイスがAndroidである場合は、仮想キーボードを有効するには、下記の手順に従って操作してください。

1. Android デバイスで「設定」を開きます。
2. 言語と入力方法を選択します。ご利用のAndroidデバイスのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

Android 7.0 以降：[物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]を選択します。

Android 6.0 以降：現在のキーボード→ハードウェア（入力方法の表示）を選択します。

## 2.3 Bluetooth SPP Mode

Bluetooth HID モードが、デフォルト設定ではありません。Bluetooth SPP モードに設定するには、「セットアップ」 - 「Bluetooth SPP モード」 - 「保存して終了」の順でバーコードを読み取ります。



Bluetooth SPP モード



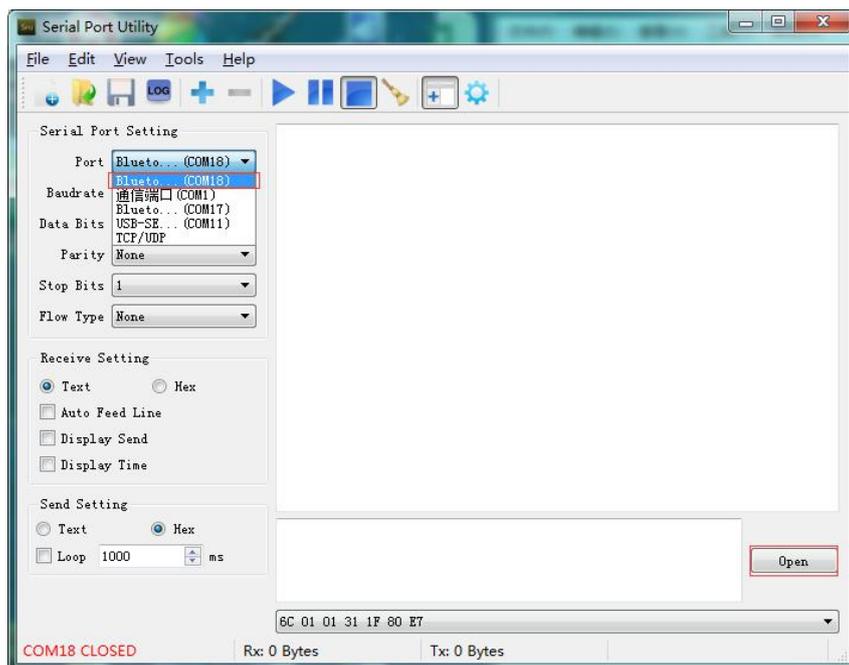
セットアップ



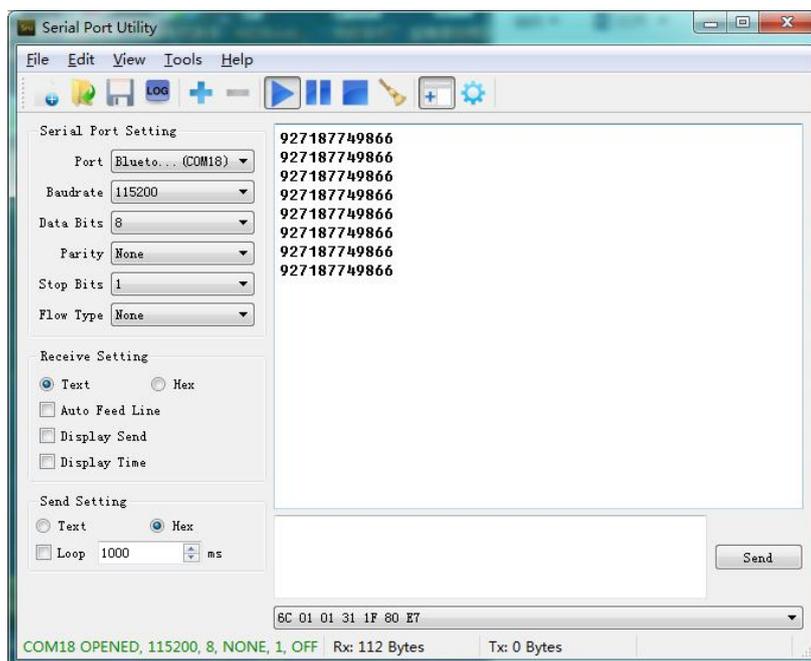
保存して終了

Inateck P7 が Bluetooth SPP モードに切り替える場合は、Inateck P7 は自動で接続待ちの状態に入り、インジケータが青点滅になって、他のデバイス（スマホ/コンピューター）で検出可能となります。ペアリングが完了しましたら、コンピューターでシリアルデバッグツールを開いて、Bluetooth COM ポートをオープンする必要があります。接続が完了してから三和音（高音から低音まで）が鳴ります。ご注意：ペアリングは、最初に一度行なえば、次回から自動的にペアリングして接続を行います。

ご注意：リストには、2つの Bluetooth COM ポートがある場合は、初めて接続が失敗したら、もう一つの Bluetooth COM ポート試してください。



接続が完了した後、次のように読み取ったバーコードがシリアルデバッグツールに表示されます。



Bluetooth 接続が切れるには、シリアルデバッグツールを閉めます。

Inateck P7 は、Bluetooth SPP モードでほかのデバイスと接続する場合は、Inateck P7 で操作する必要がありません。繋がっているコンピューターとの接続を切れて、Inateck P7 が接続待ちの状態に入ります。そして、ほかのデバイスで Inateck P7 を検出して接続します。接続後、新しく接続したコンピューターでシリアルデバッグツールを開いて、前述の通りで Bluetooth COM ポートをオープンしてください。

## 2.4 USB モード

Inateck P7 が USB ケーブルを介してコンピューターに接続されている場合、USB モードでのデータ送信が優先となります。Inateck P7 は 2 回以上の長い提示音で応答し、USB が配置されていることを示します。提示音が停止した後、Inateck P7 スキャナーの使用を開始できます。コンピューターで新しいテキストファイルを開き、カーソルをテキストの空白領域に移動すると、スキャンしたデータがテキストファイルに送信されます。

## 2.5 データ伝送スピード

デフォルトでは、効率を最大限に向上させるために、データ伝送スピードが高速送信の「デ

ータ伝送間隔時間 0ms」に設定しています。データを失う恐れがあるので、あるアンドロイドデバイスのエクセルで動作する場合は、低速送信モードに設定することを推奨します。



(\*) データ伝送間隔時間 0 ms



データ伝送間隔時間 16 ms



データ伝送間隔時間 32 ms



データ伝送間隔時間 64 ms



データ伝送間隔時間 96 ms



データ伝送間隔時間 128 ms



データ伝送間隔時間 256 ms

例：下記の手順に従って、データ伝送間隔時間が「16ms」に設定します。

- 1). 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2). 「データ伝送間隔時間 16ms」のバーコードを読み取ります。
- 3). 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了

## 2.6 Bluetooth 名前の設定

Inateck P7 は、Bluetooth 名前設定が可能で、文字数が 32 桁を超えることができません。Bluetooth 名前を設定する前に、Inateck P7 が Bluetooth HID モードまたは Bluetooth SPP モードで動作することを確認してください。「セットアップ」-「Bluetooth 名前の設定」-Bluetooth 名前（付録の各文字のバーコードを読み取ります）-「保存して終了」を読み取ります。

たとえば、「Tom」を Bluetooth 名前として設定する手順は下記通りで参考してください。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Bluetooth 名前の設定」バーコードを読み取ります。
3. 付録の「T」のバーコードを読み取ります。
4. 付録の「o」のバーコードを読み取ります。
5. 付録の「m」のバーコードを読み取ります。
6. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



Bluetooth 名前の設定



セットアップ



保存して終了

ご注意：設定された Bluetooth 名前は、再ペアリング後に表示されます。

## 第 3 章 バーコード設定

### 3.1 Codabar

#### 3.1.1 Codabarを有効/無効にする

以下の関連するバーコードを読み取ってCodabarを有効/無効に設定します。Inateck P7  
スキャナはデフォルトでCodabarを有効にします。



(\*) Codabarを有効する



Codabarを無効する

ご注意：「Codabarを無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナはCodabar  
バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナがCodabarバーコードを読み  
取れない場合は、「Codabarを有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従ってCodabarを有効に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Codabarを有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.1.2.スタート・ストップキャラクタを伝送する

以下の関連するバーコードをスキャンして、スタート・ストップキャラクタを伝送する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、スタート・ストップキャラクタを伝送します。



(\*)Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送する



Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送しない

例：Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送しないことを設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送しない」バーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」バーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 3.2 Code 11

### 3.2.1. Code 11 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 11 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 11 を無効に設定しています。



Code 11 を有効にする



(\*) Code 11 を無効にする

ご注意：「Code 11 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 11 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 11 バーコードを読み取れない場合は、「Code 11 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code11 を有効に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Code11 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.2.2 チェックサム検証

Code11 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの Code11 または 2 桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。

スキャナが「2 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 2 桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの Code 11 または 1 桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1~2 桁としてチェックサム文字を出力します。Inateck BCST-70 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。



(\*) バーコードを検証しない



1 桁のチェックサム文字で検証



2 桁のチェックサム文字で検証



(\*) チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しない検証

例：「1桁のチェックサム文字で検証してチェックサム文字を出力しない」を設定するには、下記の手順に従って操作します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「1桁のチェックサム文字で検証」バーコードを読み取ります。
3. 「チェックサム文字を出力しないで検証」のバーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了

## 3.3 Code 128

### 3.3.1 Code128 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 128 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 128 を有効に設定しています。



(\*) Code 128 を有効する



Code 128 を無効する

ご注意：「Code 128 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 128 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 128 バーコードを読み取れない場合は、「Code 128 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code128 を有効に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Code128 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.3.2 GS1-128 (UCC/EAN-128)を有効/無効にする

GS1-128 は Code128 を元に、一定の規則で表示したバーコード規格です。以前は UCC/EAN-128 と呼ばれていました。Code 128 のコーディング規則に準拠しています。Inateck P7 はデフォルトで GS1-128 を無効に設定しています。下記の関連バーコードをスキャンして、GS1-128 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。



GS1-128 を有効する



(\* Disable GS1-128 を無効する

GS1-128 バーコードを読み取るとき、Inateck P7 はデフォルトで GS1-128 の FNC1 を文字「|」として出力します。「FNC1 を ascii code 29 として出力する」をスキャンして、FNC1 は ascii code 29 に置き換えることを設定することができます。



FNC1 を ascii code 29 として出力する



(\*FNC1 を文字「|」として出力する



セットアップ



保存して終了

### 3.3.3 USPS と FedEx を有効/無効にする

USPS と FedEx は Code128 を元に、一定の規則で表示したバーコード規格です。Inateck P7 はデフォルトで USPS と FedEx を有効に設定しています。下記の関連バーコードをスキャンして、USPS と FedEx を有効を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。



(\*) USPS と FedEx を有効する



USPS と FedEx を無効する



セットアップ



保存して終了

## 3.4 Code 39

### 3.4.1 Code 39 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 39 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 39 を有効に設定しています。



(\*) Code 39 を有効する



Code 39 を無効する

### 3.4.2 スタート・ストップキャラクタを伝送する

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code39 スタート・ストップキャラクタを伝

送する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、スタート・ストップキャラクタを伝送しません。



Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送する



(\*) Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送しない

例：Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送しないことを設定します。

1. 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2. 「Code39 を有効にする」バーコードを読み取ります。（Code39 が無効に設定した場合有効に設定する必要があります）。
3. 「Code 39 スタート・ストップキャラクタを伝送しない」バーコードを読み取ります。
4. 「保存して終了」バーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了

### 3.4.3 チェックサム検証

Code39 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェ

ックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。



(\*) Code 39 を検証しない



チェックサム文字を出力して Code 39 を検証



チェックサム文字を出力しないで Code 39 を検証

例：「チェックサム文字を出力して検証」を設定する場合は、下記の手順に従って操作します。

- 1) 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2) 「チェックサム文字を出力して検証」バーコードを読み取ります。
- 3) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.4.4 ASCII コード認識範囲の設定

以下の関連するバーコードをスキャンして、すべての英数字と特殊文字を含む Code 39 Full ASCII を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 39 Full ASCII を無効に設定しています。設定バーコードを読み取ることにより、Code 39 Full ASCII を有効に設定することができます。



Code 39 Full ASCII を有効する



(\*) Code 39 Full ASCII を無効する

例：下記の手順に従って、Code 39 Full ASCII を有効に設定します。

- 1) 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2) 「Code 39 Full ASCII を有効にする」バーコードを読み取ります。
- 3) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.4.5 VIN

Code 39 は 17 桁から成る、VIN コード（獣医情報ネットワークの略称）を作成するために使用することができます。Inateck P7 はデフォルトで VIN を無効に設定しています。



VIN を有効する



(\*) VIN を無効する

例：下記の手順に従って、VIN を有効に設定します。

- 1) 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2) 「VIN を有効にする」バーコードを読み取ります。
- 3) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.4.6 Code 32

Code 32 は、通常イタリアの医療製品に適用され、Code 39 の特別な形式です。Inateck P7 はデフォルトで Code 32 を無効に設定しています。



Code 32 を有効する



(\* Code 32 を有無効する

Code 32 は先頭文字が A に固定されています。以下の関連するバーコードをスキャンして、Code32 の先頭文字 A を有効/無効にするオプションをを選ぶことができます。 Inateck P7 はデフォルトで Code32 の先頭文字 A を無効に設定しています。



Code32 の先頭文字を有効する



(\* Code32 の先頭文字を無効する

例：下記の手順に従って、Code32 の先頭文字を有効に設定します。

- 1) 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2) 「Code32 の先頭文字を有効にする」バーコードを読み取ります。
- 3) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セッティング



保存して終了



保存せず終了

## 3.5 Code 93

### 3.5.1 Code 93 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Code 93 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、Code 93 を有効に設定しています。



(\*) Code 93 を有効にする



Code 93 を無効にする

ご注意：「Code 93 を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは Code 93 バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが Code 93 バーコードを読み取れない場合は、「Code 93 を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って Code93 を有効に設定します。

- 1) . 「セッティング」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Code93 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セッティング



保存して終了



保存せず終了

## 3.6 EAN-8

### 3.6.1 EAN-8 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-8 を有効に設定しています。



(\* ) EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする

### 3.6.2 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8 チェックサムを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-8 チェックサムを送信することに設定しています。



(\* ) EAN-8 チェックサムを送信する



EAN-8 チェックサムを送信しない

例：下記の手順に従って EAN-8 を有効にして、EAN-8 チェックサムを送信することに設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「EAN-8 を有効にする」のバーコードを読み取ります。

- 3) . 「EAN-8 チェックサムを送信する」のバーコードを読み取ります。
- 4) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 3.7 EAN-13

### 3.7.1 EAN-13 を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を有効に設定しています。



(\*) EAN-13 を有効する



EAN-13 を有効する

### 3.7.2 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 チェックサムを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 チェックサムを送信することに設定しています。



(\*) EAN-13 チェックサムを送信する



EAN-13 チェックサムを送信しない

例：下記の手順に従って EAN-13 を有効にして、EAN-13 チェックサムを送信することに設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「EAN-13 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「EAN-13 チェックサムを送信する」のバーコードを読み取ります。
- 4) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

### 3.7.3 ISBN

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 を ISBN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISBN に変換しないことに設定しています。



EAN-13 を ISBN に変換する



(\*) EAN-13 を ISBN に変換しない

例：下記の手順に従って EAN-13 を ISBN に変換することに設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「EAN-13 を ISBN に変換する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.7.4 ISSN

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-13 を ISSN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISSN に変換しないことに設定しています。



EAN-13 を ISSN に変換する



(\*) EAN-13 を ISSN に変換しない

例：下記の手順に従って EAN-13 を ISSN に変換することに設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「EAN-13 を ISSN に変換する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 3.8 MSI

### 3.8.1 .MSI を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、MSI を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、MSI を無効に設定しています。



MSI を有効する



(\*) MSI を無効する

ご注意：「MSI を無効にする」バーコードをスキャンすると、スキャナは MSI バーコードを読み取ることができなくなります。スキャナが MSI バーコードを読み取れない場合は、「MSI を有効にする」をスキャンしてリセットしてください。

例：下記の手順に従って MSI を有効に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「MSI を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.8.2 チェックサム検証

MSI はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの MSI または 2 桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。

スキャナが「2 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 2 桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの MSI

または1桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁または2桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1~2桁としてチェックサム文字を出力します。Inateck BCST-70 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。



(\*) MSI を検証しない



チェックサム文字を出力しないで MSI を検証する



2桁のチェックサム文字で MSI を検証する



(\*) チェックサム文字を出力して検証



チェックサム文字を出力しないで検証

例：「1桁のチェックサム文字で検証」を設定して、しかも、チェックサム文字を出力しない場合は、下記の手順に従って操作します。

- 1) 「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2) 「1桁のチェックサム文字で検証」バーコードを読み取ります。
- 3) 「チェックサム文字を出力しないで検証」のバーコードを読み取ります。
- 4) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 3.9 UPC-A

### 3.9.1 UPC-A を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A を有効に設定しています。



(\*) UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

### 3.9.2 UPC-A に 0 を付加する

以下の関連するバーコードをスキャンして、出力した UPC-A バーコードデータに 0 を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、0 を付加しないことに設定しています。



UPC-A に 0 を付加する



(\*) UPC-A に 0 を付加しない

### 3.9.3 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A チェックサムを送信する/しないオプ

ションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A チェックサムを送信することに設定しています。



(\*) UPC-A チェックサムを送信する



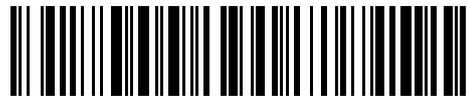
UPC-A チェックサムを送信しない

### 3.9.4 UPC-A ナンバーシステムキャラクタ

UPC-A の先頭の桁はナンバーシステムキャラクタです。以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する」に設定しています。



(\*) UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する



UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力しない



セットアップ



保存して終了

## 3.10 UPC-E

### 3.10.1 UPC-E を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E を有効に設定しています。



(\*) UPC-E を有効する



UPC-E を無効する

### 3.10.2 UPC-E1 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E1 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E1 を無効に設定しています。



UPC-E1 を有効する



(\*) UPC-E1 を無効する

### 3.10.3 先頭文字送信

以下の関連するバーコードをスキャンして、"0"または "1"に制限されている先頭文字を送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「UPC-E 先頭文字を送信しない」と設定します。



(\*) UPC-E 先頭文字を送信する



(\*) UPC-E 先頭文字を送信しない

### 3.10.4 UPC-E を UPC-A に変換する

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E を UPC-A に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「UPC-E を UPC-A に変換しない」と設定します。



UPC-E を UPC-A に変換する



(\*) UPC-E を UPC-A に変換しない

### 3.10.5 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-E チェックサムを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-E チェックサムを送信することに設定しています。



(\*) UPC-E チェックサムを送信する



UPC-E チェックサムを送信しない

## 3.11 IATA 2 of 5

### 3.11.1 IATA 25 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、IATA 25 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。Inateck BCST-70 はデフォルトで「IATA 25 を無効にする」と設定します。



IATA 25 を有効する



(\*) IATA 25 を有効しない

### 3.11.2 チェックサム検証

IATA 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁にな

ります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのIATA 25を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのIATA 25を読み取ることはできません。



(\*) IATA 25 を検証しない



チェックサム文字を出力して IATA 25 を検証する



チェックサム文字を出力しないで IATA 25 を検証する

### 3.12 インタリーブド (Interleaved) 2 of 5 (以下インタリーブド 25 と省略)

#### 3.12.1 インタリーブド 25 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、インタリーブド 25 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「インタリーブド 25 を有効にする」と設定します。



(\*) インタリーブド 25 を有効にする



インタリーブド 25 を無効にする

例：下記の手順に従ってインタリーブド 25 を有効に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「インタリーブド 25 を有効にする」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 3.13 マトリックス(Matrix) 2 of 5 (以下マトリックス 25 と省略)

#### 3.13.1 マトリックス 25 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、マトリックス 25 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「マトリックス 25 を無効にする」と設定します。



マトリックス 25 を有効する



(\*) マトリックス 25 を無効する

#### 3.13.2 チェックサム検証

マトリックス 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。



(\*) マトリックス 25 を検証しない



チェックサム文字を出力してマトリックス 25 を検証する



チェックサム文字を出力しないでマトリックス 25 を検証する

### 3.14 スタANDARD (Standard) 2 of 5 / インダストリアル (Industrial) 2 of 5

スタンダード (Standard) 2 of 5 は、インダストリアル (Industrial) 2 of 5 と呼ばれています。(以下スタンダード 25 と省略)

#### 3.14.1 スタンダード 25 を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、スタンダード 25 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「スタンダード 25 を無効する」と設定します。



スタンダード 25 を有効にする



(\*) スタンダード 25 を無効する

#### 3.14.2 チェックサム検証

スタンダード 25 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャ

ナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしのマトリックス 25 を読み取ることはできません。



(\*) スタンダード 25 を検証しない



チェックサム文字を出力してスタンダード 25 を検証する



チェックサム文字を出力しないでスタンダード 25 を検証する

### 3.15 中国郵便番号 (China Postal Code)

#### 3.15.1 中国郵便番号を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、中国郵便番号を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「中国郵便番号を無効にする」と設定します。



中国郵便番号を有効する



(\*) 中国郵便番号を無効する

#### 3.15.2 チェックサム検証

中国郵便番号はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェッ

クサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしの中国郵便番号を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの中国郵便番号を読み取ることはできません。



(\*) 中国郵便番号を検証しない



チェックサム文字を出力して中国郵便番号を検証する



チェックサム文字を出力しないで中国郵便番号を検証する

## 3.16 Plessey

### 3.16.1 Plessey を有効/無効にする

以下の関連するバーコードをスキャンして、Plessey を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Plessey を無効する」と設定します。



Plessey を有効する



(\*) Plessey を無効する

### 3.16.2 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、Plessey を検証する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Plessey を検証しない」と設定します。



Plessey を検証する



(\*) Plessey を検証しない



セットアップ



保存して終了

## 3.17 Telepen

### 3.17.1 Telepen を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、Telepen を有効/無効する無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 は、デフォルトで「Telepen を無効する」と設定します。



Telepen を有効する



(\*) Telepen を無効する

### 3.17.2 チェックサム検証

以下の関連するバーコードをスキャンして、Telepen を検証する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Telepen を検証しない」と設定します。



Telepen を検証する



(\*) Telepen を検証しない



セットアップ



保存して終了

### 3.17.3 Telepen Alpha

Telepen Alpha は Telepen に属します。以下の関連するバーコードをスキャンして、Telepen Alpha を有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 は、デフォルトで「Telepen Alpha を無効する」と設定します。



Telepen Alpha を有効する



(\*) Telepen Alpha を無効する



セットアップ



保存して終了

## 3.18 GS1 DataBar

### 3.18.1 GS1 DataBar を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、GS1 DataBar を有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 は、デフォルトで「GS1 DataBar を有効する」と設定します。



(\*) GS1 DataBar を有効する



GS1 DataBar を無効する



セットアップ



保存して終了

## 3.19 GS1 DataBar Expanded

### 3.19.1 GS1 DataBar Expanded を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、GS1 DataBar Expanded を有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 は、デフォルトで「GS1 DataBar Expanded を有効する」と設定します。



(\*) GS1 DataBar Expanded を有効する



GS1 DataBar Expanded を無効する



セットアップ



保存して終了

## 3.20 GS1 DataBar Limited

### 3.20.1 GS1 DataBar Limited を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、GS1 DataBar Limited を有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 は、デフォルトで「GS1 DataBar Limited を有効する」と設定します。



(\*) GS1 DataBar Limited を有効する



GS1 DataBar Limited を無効する



セットアップ



保存して終了

## 第4章 出力フォーマットの設定

### 4.1 Code ID

Code ID List

Code Type	Code ID
Code 128	a
EAN-13	b
EAN-8	c
UPC-A	d
UPC-E	e
Code 39	f
Code 93	g
Codabar	h
インタリーブド 25	i
スタンダード 25	j
マトリックス 25	k
IATA 2 of 5	l
MSI	m
Code 11	n
中国郵便番号	o
ISBN	P
ISSN	q
Plessey	r
Telepen	s
GS1 DataBar Expanded	u
GS1 DataBar	v
GS1 DataBar Limited	w

以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの先頭に Code ID を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Code ID を付加しない」と設定します。



Code ID を付加する



(\*) Code ID を付加しない

例：下記の手順に従って「Code ID を付加する」に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Code ID を付加する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 4.2 バーコードの停止コードに関する設定

Decide whether to apply Enter as the stop character of barcode data by scanning correspondent barcode below. Inateck P7 defaults to “Apply Enter as the stop character of barcode”.

以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの停止文字として Enter を適用する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Enter を適用する」と設定します。



(\*) 停止文字として Enter を適用する



停止文字として Enter を適用しない

例：下記の手順に従って「停止文字として Enter を適用しない」に設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「停止文字として Enter を適用しない」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

### 4.3 プレフィックス/サフィックス設定

Inateck P7 では1~32桁のプレフィックス/サフィックスをカスタマイズされることをサポートされています。デフォルトとして Inateck P7 は、プレフィックス/サフィックスを出力すると設定していますが、関連するバーコードをスキャンして、プレフィックス/サフィックスを非表示することができます。

サポートされているプレフィックス/サフィックスのバーコードは付録1をご覧ください。



プレフィックス設定



サフィックス設定



(\*) プレフィックス出力



プレフィックス非表示



(\*) サフィックス出力



サフィックス非表示

例：下記の手順に従って、「#%1」をプレフィックスとして、「!@D」をサフィックスとして出力データを設定します

- 1). 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2). 「プレフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 3). 「#」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 4). 「%」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 5). 「1」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 6). 「サフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 7). 「!」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 8). 「@」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)

9). 「D」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)

10). 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：Inateck P7は、プレフィックス/サフィックス設定が完了すると自動的にプレフィックス/サフィックスを出力します。

#### 4.4 バーコードデータの文字（複数可）を削除する

Inateck P7は、出力されたバーコードデータの先頭/末尾の（0～99桁）文字を削除できます。初期設定で出力されたバーコードデータの先頭/末尾の文字が削除されません。詳細は以下の通りです。



先頭文字を削除する



末尾文字を削除する



(\*) 0 桁



1 桁



2 桁



3 桁



4 桁



5 桁



6 桁



7 桁



8 桁



9 桁

例：下記の手順に従って、12 桁の先頭文字と 4 桁の末尾文字を削除することを設定します

- 1) 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) 「先頭文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
- 3) 「1 桁」のバーコードを読み取ります。
- 4) 「2 桁」のバーコードを読み取ります。
- 5) 「末尾文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
- 6) 「4 桁」のバーコードを読み取ります。
- 7) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 4.5 大文字/小文字の設定

Inateck P7 は、バーコードの文字をすべて大文字または小文字に切り替えることができま

す。デフォルトでは「大文字/小文字を変更しない」と表示されますが、以下の関連するバーコードをスキャンして大文字/小文字を変更することができます。



大文字に変更する



小文字に変更する



(\* ) 大文字/小文字を変更しない

下記の手順に従って、バーコードの文字をすべて大文字に切り替えることに設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「大文字に変更する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 4.6 追加コード

EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードは追加コードをつけることができます。2桁または5桁の追加コードは通常、メインコードの右側にありますが、メインコードよりサイズが小さいです。追加のコードが無効になっている場合に Inateck P7 は、メインコードのみ読み取ります

### 4.6.1 2桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに2桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 はデフォルトで「2桁の追加コードを無効する」と設定します。



2桁の追加コードを有効する



(\*) 2桁の追加コードを有効しない

### 4.6.2 5桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに5桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。Inateck P7 はデフォルトで「5桁の追加コードを無効する」と設定します。



5桁の追加コードを有効する



(\*) 5桁の追加コードを有効しない

例：下記の手順に従って「2桁と5桁の追加コードを有効する」と設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「2桁の追加コードを有効する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「5桁の追加コードを有効する」のバーコードを読み取ります。
- 4) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 4.7 バーコードセパレーター

以下の関連するバーコードをスキャンして、セパレーター「-」を有効/無効するオプションを選ぶことができます。この設定は、ISBN コードおよび ISSN コードでのみ使用できます。Inateck P7 のデフォルトは、「セパレータを無効にする」です。



セパレーターを有効する



(\*) セパレーターを無効する

例：下記の手順に従って「セパレータを有効する」と設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「セパレータを有効する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

## 4.8 Short Barcode ショートバーコード

Inateck P7 は、インタリーブド 25、IATA25、スタンダード、マトリックス 25、コード 11、MSI、中国郵便番号、Code39、Codabar など、2 桁及び 2 桁以下のショートバーコードをサポートしています。アンチジャミング機能を向上させ、エラースキャンを発生しないように、Inateck P7 はデフォルトとし「ショートバーコードを無効する」と設定しています。ショートバーコードが読み取れない場合は、以下の手順に従って操作してください。



ショートバーコードを有効する



(\*) ショートバーコードを無効する

例：下記の手順に従って「ショートバーコードを有効する」と設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「ショートバーコードを有効する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 4.9 Caps Lock 制御

Windows システムで Inateck P7 を操作する際に、Caps Lock キーの状態によりバーコード出力結果が変更されることがあります。このようなことを避けるために、「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを有効にしてください。



(\* ) Caps Lock 制御



Caps Lock 制御を解除する

例：下記の手順に従って「Caps Lock 制御を解除する」と設定します。

- 1) . 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) . 「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを読み取ります。
- 3) . 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せずに終了

## 4.10 特定の文字で始まるバーコードを出力する

Inateck P7 は、特定の文字（最大 6 桁）で始まるバーコードを出力することができます。出力可能な文字は付録 I をご参考ください。Inateck P7 はデフォルトとし「任意の文字で始まるバーコードを出力する」と設定しています。



特定の文字で始まるバーコードを出力する



(\*任意の文字で始まるバーコードを出力する



始まる文字を設定する

下記の手順に従って「A6 で始まるバーコードを出力する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「特定の文字で始まるバーコードを出力する」のバーコードを読み取ります。
3. 「A」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
4. 「6」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：始まる文字を設定した後、Inateck P7 は、特定の文字で始まるバーコードのみ出力します。無効するには、「セットアップ」 - 「任意の文字で始まるバーコードを出力する」 - 「保存して終了」のバーコードを順番で読み取ります。



セットアップ



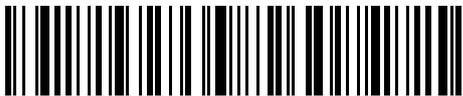
保存して終了



保存せず終了

## 4.11 白黒反転したバーコードを出力する

白黒反転バーコードとは、黒（バー）と白（スペース）が逆のバーコードを指します。Inateck P7 は白黒反転バーコードを読み取ることができますが、デフォルトでは、「白黒反転バーコードを無効する」と設定しています。



白黒反転バーコードを有効する



(\*) 白黒反転バーコードを無効する

下記の手順に従って「白黒反転バーコードを有効する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「白黒反転バーコードを有効する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 4.12 特定の開始文字を非表示する

コード 128 およびコード 39 は、特定の開始文字により製品パラメーターを示すために使用されます。例えば、開始文字「P」は部品番号、開始文字「Q」は数量を表示します。Inateck P7 は、D、K、P、Q、S、V、1P、1T、10D、17V、2P、4L などコード 128 およびコード 39 の特定の開始文字を非表示にすることができます。非表示にすると、出力されなくなります。Inateck P7 のデフォルトは「特定の開始文字を出力する」と設定しています。



特定の開始文字を非表示する



(\*) 特定の開始文字を出力する

下記の手順に従って「特定の開始文字を非表示する」と設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「特定の開始文字を非表示する」のバーコードを読み取ります。
3. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



セットアップ



保存して終了



保存せず終了

## 4.13 タイムスタンプ

タイムスタンプには、時刻（時、分、秒）と日付（年、月、日）が表示されます。Inateck P7 はデフォルトで「タイムスタンプを出力しない」と設定しています。タイムスタンプを出力する/しないと設定できます。また、時刻のみ/日付のみ/時刻と日付を出力するこ

と設定できます。設定後、タイムスタンプは 24 時間形式で表示され、各バーコードの末尾に追加されます。



時刻を出力する



(\*) 時刻を出力しない



日付を出力する



(\*) 日付を出力しない



セットアップ



保存して終了

タイムゾーンが異なるか、バッテリーが切れたため、タイムスタンプと現地時間が同期していないという問題が発生する場合があります。この場合は、以下のバーコードをスキャンしてタイムスタンプを設定してください。



タイムスタンプで年を設定



タイムスタンプで月を設定



タイムスタンプで日を設定



タイムスタンプで分を設定



数字 0



数字 2



数字 4



数字 6



数字 8



タイムスタンプで時を設定



タイムスタンプで秒を設定



数字 1



数字 3



数字 5



数字 7



数字 9



セットアップ



保存して終了

下記の手順に従って、タイムスタンプを 09:34:07 2019/04/18 に設定します。

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「タイムスタンプで年を設定」のバーコードを読み取ります。
3. 「数字 1」のバーコードを読み取ります。
4. 「数字 9」のバーコードを読み取ります。
5. 「タイムスタンプで月を設定」のバーコードを読み取ります。
6. 「数字 4」のバーコードを読み取ります。
7. 「タイムスタンプで日を設定」のバーコードを読み取ります。
8. 「数字 1」のバーコードを読み取ります。
9. 「数字 8」のバーコードを読み取ります。
10. 「タイムスタンプで時を設定」のバーコードを読み取ります。
11. 「数字 9」のバーコードを読み取ります。
12. 「タイムスタンプで分を設定」のバーコードを読み取ります。
13. 「数字 3」のバーコードを読み取ります。
14. 「数字 4」のバーコードを読み取ります。
15. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
16. 「タイムスタンプで秒を設定」のバーコードを読み取ります。
17. 「数字 7」のバーコードを読み取ります。
18. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：タイムスタンプで年を 2000 年から 2099 年までしか設定できません。

## 4.14 ショートカットキー

ショートカットキーとは、付録に登録された文字や特定の機能を直接に出力することです。例えば、付録のバーコード「A」をスキャンすると、文字の「A」が出力されます。「Tab」または「Enter」のバーコードを読む取ると、カーソルを次のタブストップまで

移動させたり、改行/段落分けしたりする「Tab」キーまたは「Enter」キーが対応した機能を実現します。 Inateck P7 はデフォルトで「ショートカットキーを無効にする」と設定しています。 ショートカットキーを有効/無効すると設定できます。



ショートカットキーを有効する



(\*) ショートカットキーを無効する



セットアップ



保存して終了

## 付録1 プレフィックス/サフィックスの番号とシンボルリスト



/\*Affix000\*/

Space



/\*Affix001\*/

!



/\*Affix002\*/

"



/\*Affix003\*/

#



/\*Affix004\*/

\$



/\*Affix005\*/

%



/\*Affix006\*/

&



/\*Affix007\*/

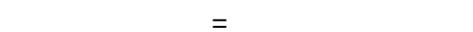
'



/\*Affix008\*/



/\*Affix009\*/





/\*Affix030\*/

>



/\*Affix032\*/

@



/\*Affix034\*/

B



/\*Affix036\*/

D



/\*Affix038\*/

F



/\*Affix040\*/

H



/\*Affix042\*/

J



/\*Affix044\*/

L



/\*Affix046\*/

N



/\*Affix048\*/

P



/\*Affix031\*/

?



/\*Affix033\*/

A



/\*Affix035\*/

C



/\*Affix037\*/

E



/\*Affix039\*/

G



/\*Affix041\*/

I



/\*Affix043\*/

K



/\*Affix045\*/

M



/\*Affix047\*/

O



/\*Affix049\*/

Q



/\*Affix050\*/

R



/\*Affix052\*/

T



/\*Affix054\*/

V



/\*Affix056\*/

X



/\*Affix058\*/

Z



/\*Affix060\*/

\



/\*Affix062\*/

^



/\*Affix064\*/

`



/\*Affix066\*/

b



/\*Affix068\*/

d



/\*Affix051\*/

S



/\*Affix053\*/

U



/\*Affix055\*/

W



/\*Affix057\*/

Y



/\*Affix059\*/

[



/\*Affix061\*/

]



/\*Affix063\*/

\_



/\*Affix065\*/

a



/\*Affix067\*/

c



/\*Affix069\*/

e



/\*Affix070\*/

f



/\*Affix071\*/

g



/\*Affix072\*/

h



/\*Affix073\*/

i



/\*Affix074\*/

j



/\*Affix075\*/

k



/\*Affix076\*/

l



/\*Affix077\*/

m



/\*Affix078\*/

n



/\*Affix079\*/

o



/\*Affix080\*/

p



/\*Affix081\*/

q



/\*Affix082\*/

r



/\*Affix083\*/

s



/\*Affix084\*/

t



/\*Affix085\*/

u



/\*Affix086\*/

v



/\*Affix087\*/

w



/\*Affix088\*/

x



/\*Affix089\*/

y



/\*Affix090\*/

z



/\*Affix092\*/

|



/\*Affix094\*/

~



/\*Affix096\*/

F1



/\*Affix098\*/

F3



/\*Affix100\*/

F5



/\*Affix102\*/

F7



/\*Affix104\*/

F9



/\*Affix106\*/

F11



/\*Affix108\*/

Tab



/\*Affix091\*/

{



/\*Affix093\*/

}



/\*Affix095\*/

Enter



/\*Affix097\*/

F2



/\*Affix099\*/

F4



/\*Affix101\*/

F6



/\*Affix103\*/

F8



/\*Affix105\*/

F10



/\*Affix107\*/

F12



/\*Affix109\*/

Backspace



/\*Affix110\*/

Delete



↑



↓



←



→



Esc



Insert



Home



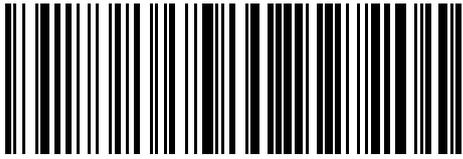
End



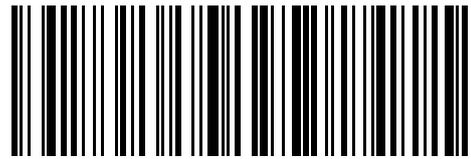
Page Up



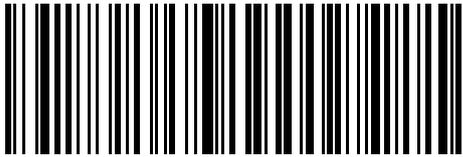
Page Down



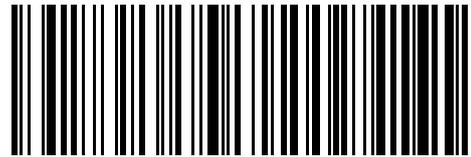
NUL



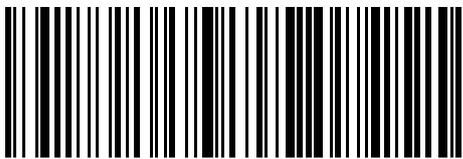
SOH



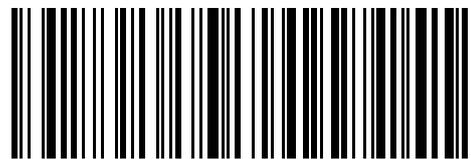
STX



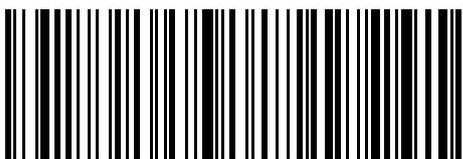
ETX



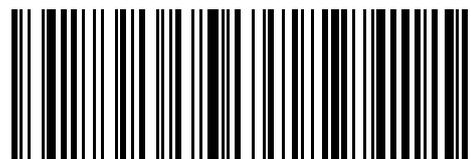
EOT



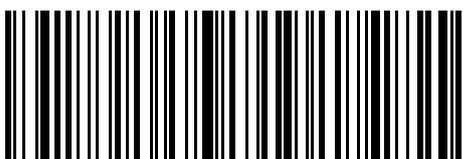
ENQ



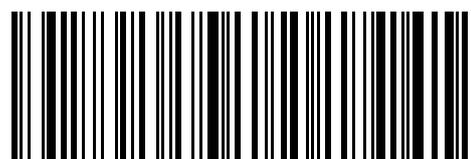
ACK



BEL



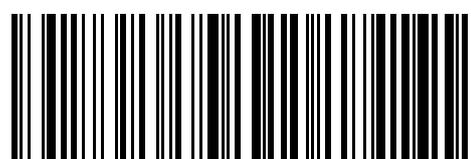
BS



HT



LF



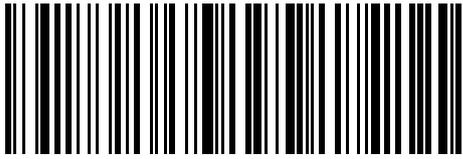
VT



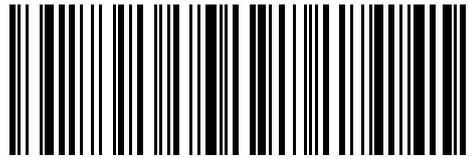
FF



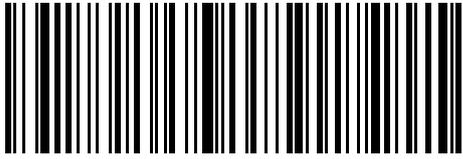
CR



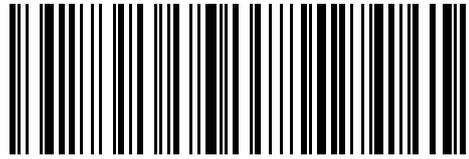
SO



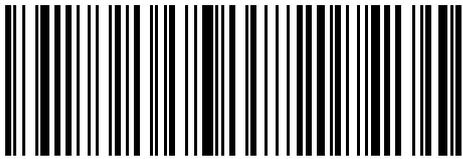
SI



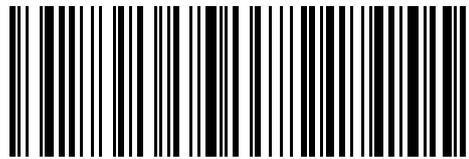
DLE



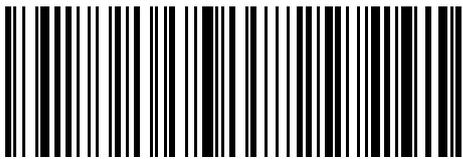
DC1



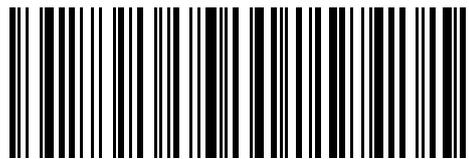
DC2



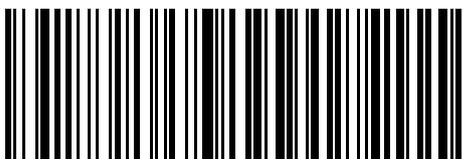
DC3



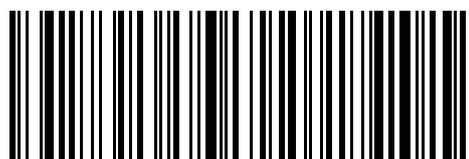
DC4



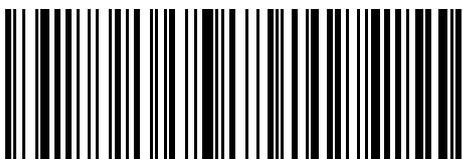
NAK



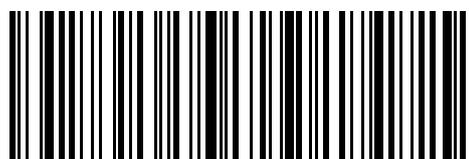
SYN



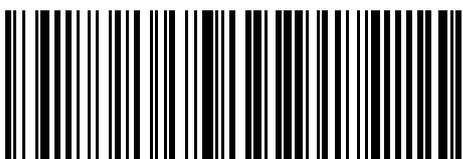
ETB



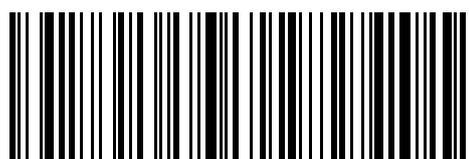
CAN



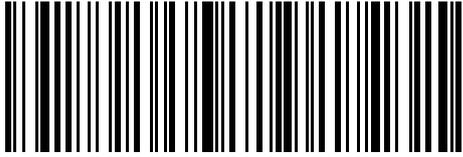
EM



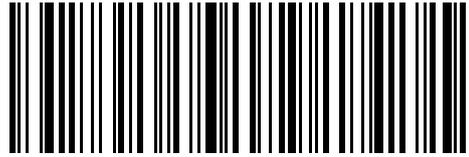
SUB



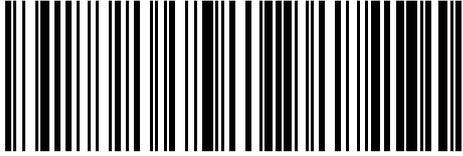
ESC



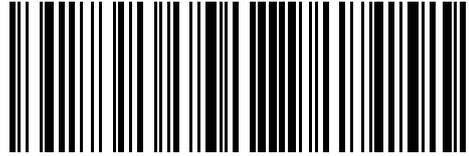
FS



GS



RS



US